

はしもと

〈病院理念〉

地域に根づいた患者様に信頼される病院づくり

〈基本方針〉

～心のかよう病院を目指して～

患者様のため、まごころの医療を目指します
地域の皆様から信頼される病院づくりに努めます
常に新しく良質な医療ができるように心がけます
皆様の健康増進、疾病予防のお役に立ちたいと願っております

〈病院運営のコンセプト〉

1. 気づきの医療
2. わかりやすさ



韓院長挨拶

新年明けましておめでとうございます。

皆様方それぞれ、希望に満ちた新年をお迎えになられたことと思います。

医療法人社団和風会 橋本病院の病院理念「地域に根づいた患者様に信頼される病院づくり」に共感し、平成24年4月より勤務をし、早いもので7度目の新年を迎え、改めて心を引き締めております。

医療法人社団和風会 橋本病院の長年の歩みとともに育成確立された運営基盤に立脚し、医療環境の変化に対応した院内整備が行われ、平成24年10月より回復期リハビリテーション病棟（89床）となり、病棟の充実を図ることに加え、患者様の自宅への退院に向けて、患者様の「生活の質」を高めていくことに努力し、大きな成果を得て、リハビリテーション病棟の必要性は対外的にも良い評価を得ることが出来ております。一層の努力と継続が必要と考えます。

また、団塊世代の人達が高齢化し、全体的にお年寄りが急増し、それに合わせるように「認知症患者」様も増加の一途を辿っております。こうした認知症患者様の受け皿として、認知症治療病棟（67床）の必要性が高まっております。入院患者様・ご家族様に認知症治療病棟の役割を十分に理解して頂き、信頼関係を得る努力の継続が重要と考えます。

地域の皆様の健康に貢献すべく、より安全・安心して頂ける医療を目指して、職員一同頑張る所存でありますので、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。



医療法人社団和風会 橋本病院
病院長 韓 憲男



副院長挨拶

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられましたこととお喜び申し上げます。

旧年中は、多くのご指導、ご支援を頂き、誠にありがとうございました。

当院は入院治療として、回復期リハビリテーション病棟と認知症治療病棟を有しておりますが、高齢化社会に伴い、両病棟での治療の必要性は年々高まっていることを実感している次第です。

我が国は本格的な高齢化社会に突入しており、それに伴い高齢者4人に1人が認知症及びその予備軍と言われており、認知症の予防、早期発見、専門的治療の重要性が認識されています。「認知症」といってもその原因には様々な相違があり、認知症のタイプによって治療も異なります。また「認知症」では、病気の経過のどの時期であるかによって治療も異なります。当院の認知症治療病棟においては、認知症の経過の中で中期以降にみられる周辺症状（夜眠らない・夕方以降落ち着きがなくなる・昼夜逆転・歩き回る・怒り易い・イライラしている・気持ちが落ち込んでいる・妄想・幻覚・興奮しやすいなど）を改善させることを一つの目標とし行っています。認知症の介護・治療が在宅、施設が中心の場合ですが、上記のような周辺症状が顕著な場合、対応が困難になる場合もあり、そのような場合、認知症治療病棟での治療が選択肢の一つとなります。

当院認知症治療病棟では拘束を行わず、個人の尊厳ができるだけ保たれることを目標とし、スタッフ一丸となって今後も地域の認知症治療に貢献していきたいと考えています。



医療法人社団和風会 橋本病院
副院長（心療内科・認知症治療担当） 平尾 徹



回復期リハビリテーション病棟

回復期リハビリテーション病棟の看護師の役割

- ★ 回復期リハビリテーション病棟とは、リハビリテーションを行い、障害のできる限りの改善と日常生活動作の自立を目的とした病棟です。
- ★ 回復期リハビリテーション病棟での看護師の役割は、患者様がその日のリハビリをスムーズに行えるように体力・筋力をつけること。疾病を考慮して全身管理を行い、二次合併症の早期発見や予防に努めることです。そして、患者様の要望を聞き、日常生活全般の援助を行いながら、安心してリハビリを進められるように、また「できる能力」を日常生活に取り入れ「している能力」となるように支援していきます。



患者様・ご家族様参加のカンファレンスの様子

病気や障害によって病前のような生活を送れなくなった患者様やご家族様は、強い不安やストレスでいっぱいになります。そのような患者様を理解し、患者様に合わせて病気や障害と向き合ってもらえるように関わっています。

そのため、患者様の状態を日々細かく確認し、患者様とのコミュニケーションを図り、医師・リハビリスタッフとの連携を密に行うと共に、毎月、患者様・ご家族様参加型のカンファレンスを行い、自宅で生活ができるように支援を行っています。



認知症治療病棟

シリーズ 認知症

第6回

～ 周辺症状について～



1) 認知症の症状は2つに分けられる

認知症の症状は大きく2つに分けられ、脳の細胞が担っていた役割が失われることで起こる「中核症状」と、中核症状によって引き起こされる二次的な症状の「周辺症状」や「行動・心理症状 ～BPSD～」があります。

2) 周辺症状とは？

不安・抑うつ、徘徊、妄想や幻覚、せん妄、暴言・暴力、睡眠障害、帰宅願望、異食 など様々であるが、ご本人の性格や環境、心理状態によって出現するため、人それぞれ個人差があります。

徘徊 > 無目的に歩き回る。でも、実際は何らかの理由が存在することが多い。

妄想 > 被害妄想、物とられ妄想、関係妄想、罪業妄想、幻覚。

抑うつ > 抑うつ気分、不安、意欲の低下、自律神経症状。

3) 認知症の人への対応のポイント

- ・「叱らない」「指摘しない」「否定・議論しない」よう注意しましょう。できるだけ相手の意思を受け止めて汲み取るようにして、穏やかな声で対応しましょう。
- ・本人が出来ることは何かを把握して、できることをお願いすると、達成感や互いの信頼感につながります。



認知症相談のお知らせ

当院では、外来にて認知症相談を行っております。事前にご予約のうえ、ご来院ください。

【診療日】

月曜・火曜・金曜・土曜

日本神経理学療法学会学術大会

第16回 日本神経理学療法学会学術大会

会期：2018年11月10日（土）～11日（日）

会場：グランキューブ大阪



「脳卒中患者の独歩獲得に必要な身体機能」 大西徹也（理学療法士）

「頭部CTを用いた皮質網様体路損傷者の同定と姿勢制御機能特性」
福田真也（理学療法士）

「定量評価による小脳梗塞者の病巣同定と歩行自立度との関連性について」
後藤成二（理学療法士）

「超高齢者の歩行獲得における因子の検討 -心腎関連に着目して-」 森拓人（理学療法士）

「被殻出血を呈した重度運動麻痺患者の歩行獲得に影響を及ぼす要因の検討」 小野みどり（理学療法士）



口述発表1名、ポスター発表4名で臨みました。香川県では当院からの演題数が最も多かったようです。本学会は内容もハイレベルで、とても刺激的でした。また、参加者と一緒に楽しくセッションできたのが最高でした。学会で学んだことを臨床に活かし、今後も頑張りたいと思います。

日本臨床神経生理学会学術大会

第48回 日本臨床神経生理学会学術大会

会期：2018年11月8日（木）～10日（土）

会場：東京ファッションタウンビル



脳派や筋電図など日頃お目にかかることのない講演やシンポジウムばかりで、とても勉強になりました。専門性の高い方に囲まれて緊張しましたが、新しい道が拓けそうです。

「単発刺激と二連発刺激による最大筋収縮時磁気刺激（TMS with MVC）が
手指筋の運動誘発電位（MEP）と摘み筋力に及ぼす影響」 菅原健太郎（理学療法士）



四国理学療法士学会

第47回 四国理学療法士学会

会期：2018年12月1日（土）～2日（日）

会場：高知県立県民文化ホール



「被殻出血により皮質網様体路を損傷し、非麻痺側の予測的姿勢制御障害をきたした症例 -シングルケースを通しての一考察-」 尾山直樹（理学療法士）

「皮質網様体路損傷者に対する姿勢制御介入戦略」 福田真也（理学療法士）

「前頭葉皮質下出血によりpushingを呈した症例に対するアプローチ -課題難易度設定に着目して-」 小林亮輔（理学療法士）

今回は発表者3名以外に、1年目スタッフ7名全員と他7名の計14名が参加しました。特に1年目スタッフにとっては初めての四国学会で、先輩の発表する姿を見たり、他施設の症例発表や研究を聞いて各々刺激を受けたようです。今後も臨床での疑問を研究材料に積極的に発表し、新しい知識、情報を得ていきたいと思ひます。



日本リハビリテーション栄養学会学術集会

第8回 日本リハビリテーション栄養学会学術集会

会期：2018年12月1日（土）

会場：サンポートホール高松

「脳卒中患者における歩行自立への栄養指導の関連性の検討」

大野達郎（理学療法士）

「ST評価と多職種連携により嚥下障害が改善した高齢の一症例」

関彩里（言語聴覚士） 白川卓 代読

「認知症の摂食の障害 -認知症治療病棟入院患者を対象とした調査-」 木下和代（看護師）



栄養値のカットオフ値の算出を主体に発表してきました。学会に参加して「リスクの低い方には効率的な医療、リスクの高い方には質の医療の提供が重要」というのが印象に残りました。また、栄養に関しては、それぞれの病棟でのチームのシステムづくりが重要であり、今後当院でも活かしていきたいと思えます。

褥瘡委員会

褥瘡とは一般的に「床ずれ」と呼ばれており、長期間同じ姿勢で寝たきり等になった場合、身体と支持面との接触により血行が悪くなり周辺組織が壊死を起こします。麻痺等で感覚が鈍い方や自分で身体の向きを変える事ができない方、痩せて骨が出っ張っている方、栄養に偏りがある方等は褥瘡が発生しやすいと言われています。当院での褥瘡発生率は、[平成29年度 2.0%] [平成30年度 1.2% ※12月現在時点] と年々減少傾向にあります。褥瘡を発生させない為に次の取り組みを行っています。

当院での取り組み

リハビリ … 褥瘡にならないようADL練習を多く取り入れ、寝たきりの防止を行っています。

病棟・看介護 … 2～3時間毎の体位交換、ポジショニングの設定・実施、栄養状態の管理に関わっています。

褥瘡委員会 … 月1回、医師・看護師・介護士・リハビリスタッフを含めてカンファレンスを行い、回診やより良い治療方針の検討を行っています。



院内感染防止対策委員会

毎年寒い時期になると、インフルエンザやノロウイルスといった感染症が流行し集団感染が報告されています。入院患者様にはご高齢の方や様々な疾病をお持ちの方が多く、感染症に罹患されると一般の方に比べ重症化が懸念されます。当院でも感染防止に万全を期するため、面会制限をさせて頂いておりますのでご協力をお願い致します。

実施期間：平成30年11月1日～平成31年3月31日 **面会時間：8:00～20:00**

出入り口：正面玄関の1ヶ所のみ

体調チェック：病棟入口にて、熱発、咳、嘔気・嘔吐、下痢等の症状の有無の問診と体温測定

* 熱発、咳、嘔気・嘔吐、下痢等の症状がある方、また1週間以内に同様症状のある方と接触されている場合は面会をお断りさせていただきます。

* また、12歳以下の方の病棟での面会はお断りさせていただきます。別室を設けさせて頂いております。

* 地域または院内で感染症が集団発生した場合には、上記に関わらず、全ての面会を制限させていただきます。



ご家族の皆様、ご面会の方々には大変ご不便をお掛け致しますが、入院患者様の感染防止対策のため、ご理解ご協力のほど何卒よろしくお願い致します。

医療安全管理委員会

医療安全対策への取り組み

医療安全は、医療の質に係る重要な課題です。また、安全な医療の提供は医療の基本となるものであり、橋本病院全職員一人ひとりが、医療安全の必要性・重要性を自分自身の課題と認識し、医療安全管理体制の確立を図り安全な医療の遂行を徹底する事がもっとも重要です。橋本病院では、医療安全管理体制委員会及び医療安全管理部を設置して医療安全管理体制を確立するとともに、院内の関係者の協議のもとに、医療安全管理の強化と充実を図っています。

平成30年度から複数の医療機関が連携し医療安全対策に関する評価を行う『医療安全対策地域連携』が開始しました。当院は、三豊総合病院・四国こどもとおとなの医療センターおよび香川労災病院と連携しています。

11月20日に、三豊総合病院・四国こどもとおとなの医療センターの医療安全に携わっている職員の方々が当院を訪問し、医療安全相互チェック表を用いて医療安全管理体制について評価して頂きました。概ね『良』の評価を頂きました。連携を始めたことで急性期病院の医療安全管理システムや医療安全の取り組みを知ることができ、当院の医療安全管理の更なる充実を図ることができています。



来年1月には、香川労災病院の方が医療安全相互チェックに訪問される予定であり、評価頂いた内容に対し真摯に取り組み、より一層、医療安全管理に努めたいと考えています。

今後も皆様に安全な医療を提供するために全力で取り組みますので宜しくお願いいたします。



通所リハビリテーションセンターはしもと

創作活動



冬の「白川郷合掌造り」作成に挑戦しました。毛糸を編んだもので“山の峰”を、お花紙を丸めたもので“積もった雪”を、“茅葺き屋根”の様子は折鶴で表現するなど、同じ白でも風合いを変え試行錯誤し、利用者様と一緒に取り組み、二ヶ月以上かけて完成しました。これらの作業は手指の巧緻性の向上や、脳トレーニングにつながります。



施設の見学ができます。
 随時、お気軽にどうぞ。
 <お問い合わせ先>
 TEL : 0875-63-3700
 担当 : 西山 寿美子



スマイルカフェ

今回は、結核検診の講義、体力測定、遊ビリテーションとしてのクリスマスツリー作成、生活機能改善機器を使用しての体操・脳トレーニングを行いました。最後はティータイムでゆっくりと過ごして頂きました。「充実した時間を過ごせた。自分の体力が分かって良かった」など、好評でした。是非遊びにお越しください。 次回：2019年3月9日(土)



地域連携室

2018年11月に行いました**事前訪問**（当院転院前に患者様が入院されている病院へ直接訪問し、心身状態の把握や入院についての説明等を実施）の実績（回復期リハ病棟）を紹介します。

- 1ヶ月の訪問件数：11月【31件】
- 入院されている病院から紹介状が届いて訪問するまでの平均日数：11月【8.3日】
- 紹介状が届いて当院へ転院されるまでの平均日数：11月【16.4日】

※事前訪問後、当院へ転院されるまでの平均日数は 8.0日（1～26日）です。大変お待たせして申し訳ございません。

対象となる方

1. 脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷の発症又は手術後、義肢装着訓練を要する状態から2ヶ月以内。高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頸髄損傷及び頭部外傷を含む多部位外傷の発症から2ヶ月以内。
2. 多肢の骨折、大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の骨折もしくは手術後から2ヶ月以内。
3. 外科的手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後または発症後から2ヶ月以内。
4. 大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は関節の神経、筋又は靭帯損傷後の1ヶ月以内。
5. 股関節又は膝関節の置換術後の状態の1ヶ月以内。



リハビリは 365日、1日3時間

提供させていただきます。
また、多職種によるチーム医療で、早期に退院できるように取り組んでいます。

入院相談はお気軽にご連絡ください

橋本病院 地域連携部
窓口：大西 宏美

電話：0875-63-3552（直通）
0875-63-3311（代表）



認知症治療病棟への入院相談もお伺いしております。お気軽にご連絡ください。



移動も安心のサービス

転院の際の無料送迎をしております。ご希望の方はお気軽にお申し出ください。

外来

当院は外来リハビリを積極的に行っています。

- ・急性期病院、回復期リハビリテーション病院を退院後、さらなる機能向上・生活動作向上を目指し、もう少しリハビリを続けたい。
- ・入院するほどではないが、リハビリを行って日常生活をさらに豊かにしたい。
- ・日常生活において身体の痛みで困っている。



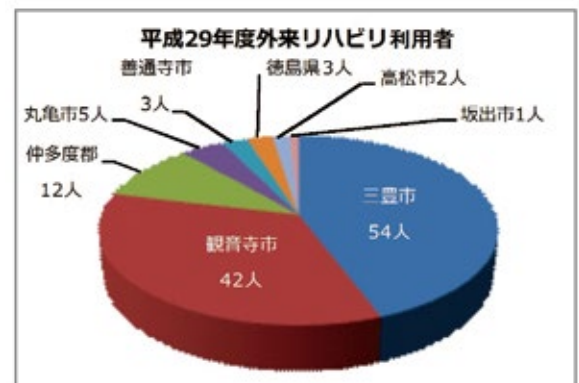
以上のような方を対象に外来リハビリを実施しています。外来リハビリは当院受診後、当院担当医の指導の下に、1回1時間、1回～3回/週の頻度でリハビリを実施しています。

【対象疾患】

脳血管疾患（脳梗塞・脳出血・くも膜下出血など）
骨・関節疾患（骨折・変形性関節症・人工関節術後など）
神経・筋疾患（パーキンソン病など）

【実績】

平成29年度は計123人の方が外来リハビリを利用されました。
県外、東讃など遠方からも利用がありました。



外来リハビリでは、患者様、ご家族様の要望を聞き、患者様に合ったリハビリを提供します。また自宅生活での注意点や自宅で行える自主練習の提供も行っています。身体、生活のことでお困りの方、まずは当院にご相談ください。一緒に同じ目標に向かってリハビリを頑張りましょう！

かがわ介護王座決定戦

第5回 かがわ介護王座決定戦（介護技術コンテスト）に出場しました！

介護王座決定戦とは、香川県内の介護職員の方々が、優れた介護技術を競い合うものです。利用者の方により良い介護を提供するための介護技術の研鑽の場であるとともに、多くの方にプロの介護技術を広く知っていただき、介護の仕事への理解を深めていただくことを目的として、香川県主催により実施されています。



開催日 平成30年11月14日（水）

開催場所 サンメッセ香川

内容 1チーム3名で参加し、各チームの1名が「入浴」「食事」「排泄」の3部門に出場して、当日提示があった課題に基づき、日頃鍛錬された介護技術を披露します。今回は、11チーム33名が出場しました。



「チームはしもと」として、介護職3名で出場しました。

今回3回目出場となり、多くのギャラリーがいる中、慣れない場での実践はとても緊張しましたが、患者様の立場を考えながら実技を行うことができました。今回、『香川県長寿社会対策課長賞』を頂きました。この経験を活かし、今後もより良い介護ができるように尽力していきたいと思えます。

いくしまリレーマラソン

第4回FM香川42.195kmいくしまリレーマラソンに参加しました。

開催日：2018年11月11日（日）

場所：香川総合運動公園（高松市生島町）



1周2kmのリレーマラソンの職場部門に理学療法士4名、作業療法士5名、言語聴覚士1名で参加しました。当日は快晴で海からの風も心地よく、楽しく走ることができました。次回は来年4月のまんのう公園のリレーマラソンに参加する予定です。



職員募集のお知らせ

募集

精神保健福祉士
社会福祉士
看護師・准看護師
介護福祉士・介護職



まずは、病院見学にお越し下さい！
給与等詳細は、当院ホームページでも閲覧できます。
<http://www.wafukai-hashimoto.jp>
TEL 0875-63-3311（人事担当：安藤）



医療法人社団和風会 橋本病院
〒768-0103
香川県三豊市山本町財田西902番地1
TEL：0875-63-3311
FAX：0875-63-2651
入院相談直通電話：0875-63-3552
E-mail：wafukai@gaea.ocn.ne.jp
HP：http://www.wafukai-hashimoto.jp
発行元：橋本病院 広報委員会

医 回復期リハビリテーション病棟 89床
療 認知症治療病棟 67床

橋本病院指定居宅介護支援事業所
介 通所リハビリテーションセンターはしもと
護 メディコポリス観音寺デイサービスセンターはしもと
訪問リハビリテーションセンターはしもと

